



身近な地域とのつながりの中で学ぶ

准校長 小田 和宏

夏休みが明けて3週間、吹く風もだいぶ秋めいてまいりました。日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

休み明けの子ども達は…。小学部では、夏休みの作品を鑑賞し合い、交流を深めることができました。今、運動会に向けて、それぞれの学年や役割ごとに、毎日熱心に取り組む姿が見られます。中学部では、夏休み中に大会等で一区切りを終えた部活動が、新たな体制でスタートを切っています。個別支援級の宿泊学習、前期の期末試験も行われ、学習を通して身に付けた力を発揮しようと、努力する気持ちが高まっていました。

夏休みが明ける直前の8月26日(土)に、学校運営協議会が行われました。この協議会は、学校と保護者、地域社会が連携し合いながら子どもの育成を図っていくために、学校運営の改善を目的として協議する組織です。地域・保護者・有識者の方々に構成され、今年度は、13名の方に委員になっていただいております。

「義務教育を終えたときに、自分でしっかりと判断できる子を育てていきたい。」「差別をゆるさないという教育をしていくとよい。」「仲間づくりの9年間であってほしい。」「地域の中にいろいろな居場所があることも子どものためになる。」「アンケート等のデータは、丁寧に分析をしてもらいたい。」など、多岐にわたってご意見をいただきました。

平成32年度に全面実施される学習指導要領(中学校での実施は平成33年度より)では、「教育課程を通して、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、…(中略)…、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、社会に開かれた教育課程の実現が重要となる。」と記されています。

※「教育課程」…学校教育の目的や目標を達成するために、教育の内容を児童(生徒)の心身の発達に応じ、授業時数との関連において、総合的に組織した学校の教育計画。

今夏には、霧が丘在住の中学生3名が、連合自治会のベトナム・カンボジア研修旅行に参加させていただきました。世界の状況を幅広く視野に入れる貴重な経験をする事ができたと思います。また、先日行われた霧が丘夏期総合防災訓練では、代表児童・生徒が訓練に参加したり、4年生の児童が、社会科の学習の発展として見学させていただいたりしました。子どもたちが、身近な地域とのつながりの中で、多くのことを学んでいる姿のひとつだと感じています。

本校ソフトボール部の関東大会出場に際して、地域・保護者の皆様から多大なる応援をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。【成績：横浜市大会優勝、神奈川県大会準優勝】